

平成18年度 児童英語指導法研究部会 活動報告

第1回6月1日(木)「絵本から英語に親しむ」

小学校英語、児童英語において、頻繁に活用されている絵本であるが、利用法は多様を極める。第1に、発話を促すために挿絵を利用する方法、第2に、絵本の文章に既習語を見つけさせ、単語に興味を持たせる方法、第3に、絵本の文章を会話や作文に用いさせる方法などが紹介された。

第2回7月29日(土)「児童対象英語テストを紹介」

複数の児童対象英語テストに関して、第1に、テストの必要性和テスト実施の意義、第2に、それらのテスト実施体験者がテストの目的と使い易さを紹介し、第3に、単にテストを実施しその結果を返却するだけでなく、子どもへのフィードバック、授業への反映、保護者への対応について論じた。

第3回12月2日(土)「英語e-mailを取り入れて」

小学校英語・児童英語において、ITの活用が増加している現在、英語e-mailは指導法の一つと考えられる。英語e-mail交換の方法と実際について話し合った。

第4回1月20日(土)「語彙はどれくらい必要？」

語彙は多ければ多いほど理解を助けるが、実際にはどれだけの語彙が指導できるのだろうか。研究部会参加者の体験に基づき、語彙習得の重要性と指導法について議論した。

第5回2月3日(土)「長文リーディング教材」

小学校英語・児童英語で用いられる絵本は文字数が少ない場合が多い。文字数が多い長文リーディングについて教材をシェアし、その指導法について検討された。

第6回3月17日(土)「小学校英語活動におけるリスニング能力と英語自己評価の関係-小学生のアンケートから-

実証的研究を題材として、小学校英語活動における子どもたちの興味・意欲・感心とリスニング能力と英語自己評価について議論した。

國本 和恵 (子供英語)